

相模湾地震災害状況放送劇シナリオ 6

避難場所 鵜沼中学校体育館 震災翌日 朝

時間 十時三十分

気温 十二度 晴

課題 避難所で寝泊まりしていないけれども支援物資がひつような人達とは、同調整したらよいか。

状況設定

一夜明けて避難所に届いた水やおにぎりなどは、避難所外の人達に配布するのには足りない。

【ストーリー】

登場人物

藤沢市子（ふじさわ いちこ） 高校生・愛称チーちゃん

中島 町内会長で避難所リーダー

増田 町内会役員で食料物資班

佐藤 藤沢市職員

避難者

女 A 食料物資班

男 B 食糧物資班

マンションの住民代表 町内会には加入していないマンションの住民代表。

早朝から何機もの報道関係のヘリコプターが飛びまわる爆音が凄まじい。

【市子モノローグ】

朝暗いうちから報道関係のヘリコプターが飛びまわって、寝ていられなかった。もの凄くうるさくって、ちよつと前に防災無線の放送があったけど、何を言ってるのか聞こえなかった。災害状況をテレビで流しているんだろうけど、ここは停電していてテレビは見れないから、情報は携帯ラジオで聞くしかないのに、それも聞こえなくなっちゃう。赤ちゃんは怯えて泣き出すし……。報道の自由も大切さも分かるけど、なんかイライラしてくる。

それでも、やつと朝になって、太陽の暖かさが本当に嬉しい。避難してきた時は明かりもない暗闇の中だったので、地震のショックと寒さにただ夢中で避難所まで歩いたから、ブロック塀や石垣が崩れていたとか、植木が倒れていたぐらいしか覚えていないけど。明るくなってから周りを見ると瓦礫の山で、見慣れた街の景色が跡形もない。まだ煙を上げている家もあるし、道路もひび割れている。避難所の学校も教室のガラスは割れて散らばり、靴箱は将棋倒しになっている。体育館は無事だったけど、それでも何枚か窓ガラスが割れていた。「藤沢駅の周辺はビルの窓ガラスが飛び散って足の踏み場もない、繁華街から火の手が上がって、大火災になり、デパートや地下街の買い物客が大勢被害にあっている。」って情報班の人が話していた。「ここは住宅街だから人が人や死者は少ない」といった声も聞こえるけど、避難所にいる人たちの中にもけが人や家族の安否が知れないで心配している人は大勢いる。

十時ごろ、水やおにぎりなどが届いたけれど、避難所の人たちに十分いきわたるほどはないようだ。ここにこれずに自宅や他の場所で夜を明かした人たちはどうするんだろう……。きつとお腹をすかせていると思うんだけど。

避難所に届いた食料を配っている食糧班のところに、最近建ったばかりのマンションの住民代表（管理組合の理事）

マンションの代表 すみません、この先のマンションで理事をやって

いる者ですが、責任者の方はいらっしゃいますか。

町内会長中島 私ですが、何でしょう。

マンションの代表 私、この先のマンションで理事をやっているもの

ですけれど……。

町内会長中島 ああ、最近新しく出来た大きなマンションですね。

マンションの代表 ええそうです。マンションは無事なので、入居者

が避難所に来ることはないんですが、食べ物と水をもらいたいです。

町内会長中島 人数は何人ぐらい。

マンションの代表 五十世帯になります、全世帯分無くてもいいんで

すが・・・。

町内会長中島 それとどこの町内会。

マンションの代表 まだ町内会には入っていません。

食糧班増田 未加入で五十世帯か、かなりの量だな。物資班としては、避

難所にいる人達を優先にして、余ればOKだけど、足りない場合は後回しになるね。行政に追加を依頼して、それが来たときに配布するよ。

配布担当男B マンションは大丈夫なんだろう、それじゃ食糧はあるんじゃないか、優先順位からすると後に回ってもらいたいな。

マンションの代表 すこしは冷蔵庫に買い置きしている方もいるとは思

うんですが、水がなくて。

町内会長中島 屋上に給水塔があるんだろう。

マンションの代表 それが、トイレに・・・。

町内会長中島 ええ、トイレに使っちゃったのかい

マンションの代表 なにせ世帯が多いもので。

町内会長中島 管理組合で災害対策マニュアルなんて作ってないの。非常食や家庭用の簡易トイレの備蓄、給水塔の使用方法なんてさ。

マンションの代表 なにせ最近出来たばかりなので。

町内会長中島 町内会に入ったりや資料をあげたのに。まあ、今そんな事を言ってもしょうがない。どうだい、そっちで何とかなりそうか。

配布担当女A これから到着する物資の数を調べてからでないと、現状では無理ですね。マンションの方たちには、後ほどおわけするようになります。

町内会長中島 ここにいる人たちと相談して対策を考えるから、三十分後にまた来て下さい。町内会費も払ってないのに、災害が起きたときは面倒見てくれなんて、言われてもね。日頃から町内会や近所付き合いをよくして、地域の行事には協力してもらいたいね。(自分でペットボトルでも買ってきたら・・・(つれない態度))

マンションの代表 そりゃあ、確かに町内会には入ってないし近所づきあいもしていなから、町内会のものをもらおうとは思いませんけ

ど、税金払っているのに、最近の住民だからって、市から配給されるものまで貰えないなんて、こんな差別を受けることは納得できない。市役所の人はいないんですか。行政当局の考えを聞きたい。

行政職員佐藤 困りましたね、ここには避難してきた人数分しかないとする
と、現状ではマンションの人への配布は難しい。行政としては、避難者名簿で把握した人たちが第一優先になります。

マンションの代表 そんな・・・町内会費は払ってないけど、税金は払っているんだから、市から支給されている物は分けてもらってもいいんじゃないんですか。全世帯分はなくてもいいですから、すこしでもわけてくださいよ。手ぶらじゃ帰れない。

配布担当男B 町内会費も払ってない、ご近所とのつきあいもない、どこの誰ともわからない人に物資は渡せないよ。家を失って避難してきた人を優先すべきだ。

町内会長中島 避難所にいる人達には基本的に食糧を配布する。しかし、これから避難してくる人もいるわけだから、もっと物資を送つてもらえるよう市役所にお願ひするしかないな。

行政職員佐藤 本部に問い合わせてみないとわかりませんが。どこの避難所も同じだと思うので、確約は出来ません。

食糧班増田 隣の避難所に聞いてみましょうか、もし余っているようなら、そちらへ行つて欲しいですね。

マンションの代表 「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
つていうじゃありませんか。お互い助け合いの精神で分けて下さいよ。

配布担当女A 他の地区から物資を回してもらえるよう、行政で何とかしてくれませんか。

行政職員佐藤 本部に連絡してみますよ。それから、避難所に来る際に持ってきた水、食糧の内、少しでも分けてあげられないか、他の町内会長やリーダーに聞いてください。避難所への配給分はみんなです少しずつ我慢してもらつて、困っている人に平等になるように配布してあげたいんです。マンションの方々も、建物が無事なら、住民同士で助け合えるよう努力してみして下さい。避難所に来られない人数を報告してくれば、本部に連絡して、対応を相談してみます。皆さんの協力を期待するしかありません。

町内会長中島 避難所としては、困った人が来れば受け入れる。優先順位はつけないで平等にやりましょう。町内の住民で避難してきていない人もいるので、避難所の人に配る量がある程度減らしても、後

から来る人に配ってあげたい。

食糧班増田

分かりました、そうゆう事なら配布方法を調整しましょう。

町内会長中島

みんなが協力するにしても、限りがあるので、やはり市役所
にお願いして追加してもらおう。佐藤さんお願いしますよ。それ
からマンションの代表さん、追加の物資が届くまでの時間の問題
なんだから、納得してくださいよ。

マンションの代表

ええ・・・、わかりますけど・・・。

行政職員佐藤

皆さんの協力で、マンションの方にも配慮するので、今後は
自治会町内会には協力するようにして下さい。

マンションの代表

はい。わかりました。帰ってマンションの人たち
に話してみます。(帰って行く)

町内会長中島

しかし、この時点で食糧が足りないのは、準備不足じゃない
ですか。

行政職員佐藤

予想以上のことが起こってしまったら無理ですよ。行政とし
たって無いものは出せませんよ。

町内会長中島

まあ、こんなことが何度も繰り返されたんじゃ困るが、この
経験は今後の検討課題だな。

行政職員佐藤

行政と地域の皆さんとの協力体制が必要ですね。

二人、新住民を見送る。

【市子モノローグ】

予想もつかないことはまだまだでてくると思う、寒さ対策や食べ物もそうだ
けど、私が困ったのはトイレ。水がないから流せないの、学校の屋上プールの
水は浄水器を使って飲み水にするんですって。手や顔を洗いたいけど、いまは
だめ、ウエットティッシュでもあればいいんだけどなあ。ああ、お風呂に入
りたい、シャワーでもいい、歯が磨きたい・・・。早く水が出ないかなあ。

爆音を立ててヘリコプターが通り過ぎる。

地域発防災ラジオドラマ

現状とドラマ（フィクション）との相違点

- 二〇〇九年現在、藤沢市には市内の公立学校等を中心に八十一か所の施設が避難所として指定されています。一定の規模以上の災害が発生すると各避難所にはあらかじめ担当が決められた市職員（複数名）が駆けつけ、避難所開設の準備をはじめます。このドラマでは停電して暗い中、あえて担当者が駆けつけられない（何らかの事情が発生した）と想定して、避難所担当職員がいない中で住民だけでどうするかを協議するシーンを作りました。
- 市内の公立学校については、おおむね耐震性が確保されている状況にありません。鵜沼中学校も耐震補強が完了してはいますが、いくら耐震補強があっても、施設に入る前には安全性を確認する何らかの行動があり、かつそこには地域の協働関係が象徴されると考えて、あえて議論されるシーンを作りました。なお、藤沢市の避難施設マニュアルには簡便な安全性チェックシートも用意されています。実際のシナリオワークショップでは、建物に少しでも不安があるときは、校庭で待機するほうがよいという意見が出たグループもありました。
- ドラマではわずかなシーンですが、ペットと離れられないと主張する住民と、避難所の関係者のやり取りが描かれています。ほとんどの避難所運営マニュアルではペットの持ち込みは原則禁止となっています。アレルギーがある人や動物が苦手な人がいる現状にかんがみて、避難所内にペットを自由に持ち込める状況にするのは難しいと思いますが、地域で何らかの工夫が出来ないか、事前に検討しておくことは可能だと思えます。柏崎市ではペットと離れたくないという住民のために、避難所となった学校の駐車場に停めた車の中に入れたという事例もあるようです。藤沢市ではペットを専門に扱う事業者との協定を結んでいるところもあります。
- ドラマでは避難所運営組織の各役割が決まっているので、組織は順調に動いている形に描かれています。実際にはこの舞台となった鵜沼中学校地区の避難所運営体制の組織化は、まだ緒についたばかりでドラマ制作時点では個人々に役割があらかじめ決められているわけではありませんでした。鵜沼中学校地区防災連絡協議会では平成二十二年三月に避難所設営訓練を実施し、実際の場面になったら現場でどのような課題が生じるかを、実際に体を動かして検証・確認することが決定しています。
- 災害時の公的支援を効率的に行うためにも、避難所の実情をその都度、市の対策本部に送り、状況認識を共有化しておくことは重要です。誰がどこにい

るかがわかれば、被災地外からの連絡や安否確認の際には大変都合がよいといえます。しかし最近の個人情報がらみのトラブルにかんがみて、住民の中には本当のことを書きたがらない人が出てくるかもしれないと考えてこの課題を設定しました。町内会・自治会で名簿が作成されていない（作成が難しい）地域が増えていくようです。藤沢市の避難施設運営マニュアルには書式が定められていますが、そこに項目があるからすべて埋めると考えずに、それぞれの項目がなぜ必要かを住民自身で考え、判断することが重要であると考えられます。

● 鵜沼中学校地区ではいわゆる戸建て住宅からなる町内会・自治会だけではなく、一部のマンションの管理組合からなる自治組織が参加した形で防災連絡協議会を構成しています。防災連絡協議会に加入している自治会、管理組合の関係者間の合意形成には問題がないと思われませんが、地域のすべての共同住宅の居住者が参加しているわけではありません。したがってここで議論されたようにマンションによってはほとんど交流がないところも存在しています。

● 藤沢市では地域内住民を主体として、災害時のボランティア活動を支援するための組織藤沢災害救援ボランティアネットワーク（F S V）が活動しています。ここで取り上げたような課題の解決のためにも地元で活動するボランティアコーディネーターとしての役割が期待されます。